

福岡市電子調達システム

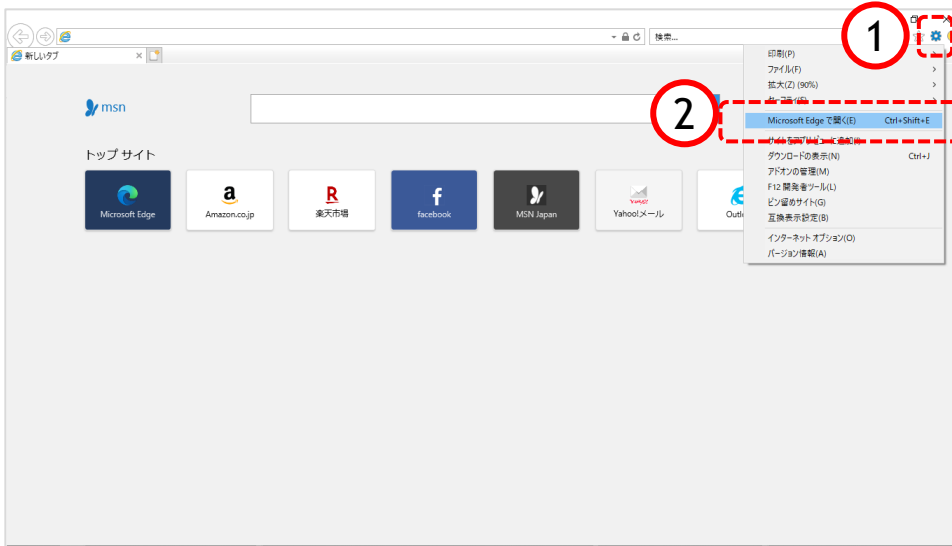
利用可能ブラウザ変更に伴う 各種設定・確認方法

目次

1. 既定ブラウザを Edge に変更する場合の手順	P.1
2. Edge での キャッシュクリア方法	P.7
3. ポップアップ の許可設定	P.9
4. 信頼済み サイトの確認	P.12
5. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法	P.15
6. OS の確認方法	P.16

1. ブラウザをEdgeに変更する場合の手順

(1) Internet Explorer画面から変更する場合

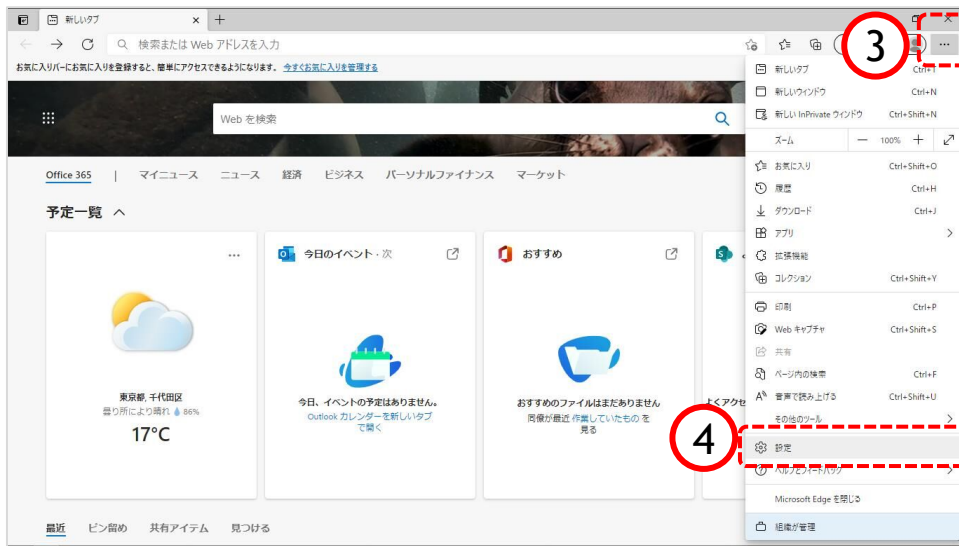


手順①

Internet Explorerの画面を表示します。

① 画面右上の「 ツール」ボタンをクリックします。

② 「Microsoft Edge で開く」をクリックします。



手順②

Microsoft Edge画面が表示されます。
設定画面を開きます。

③ 「…」ボタンをクリックします。

④ 「設定」をクリックします。



手順③

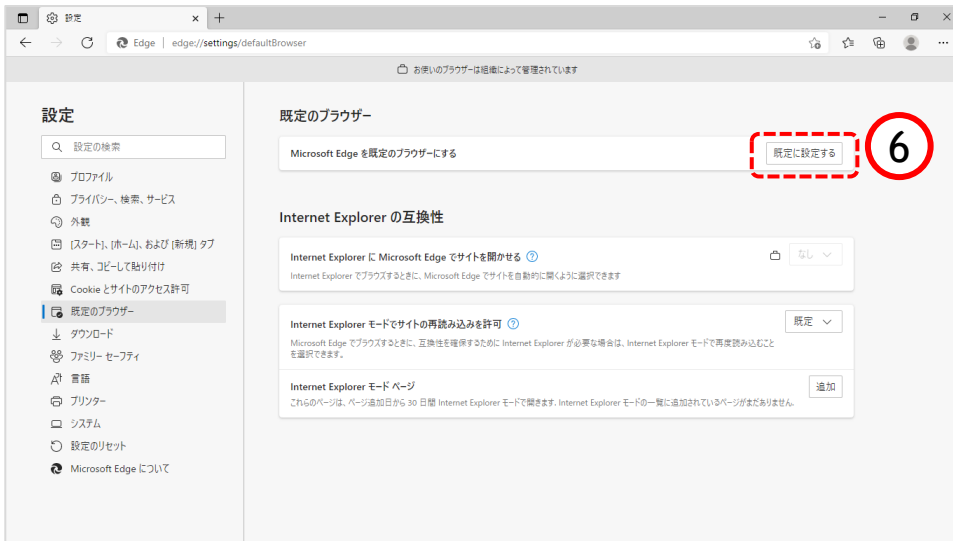
設定のプロファイル画面が表示されます。

⑤「既定のブラウザ」をクリックします。



既定のブラウザがない場合は？

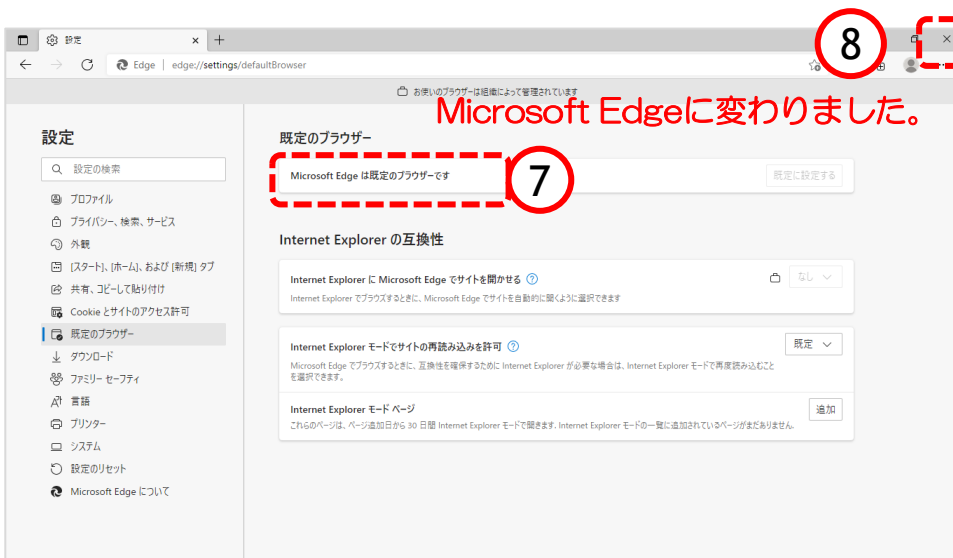
Windowsの設定から既定のブラウザを変更する方法（P. 3）より設定を行ってください。



手順④

既定のブラウザ画面が表示されます。

⑥『Microsoft Edgeを既定のブラウザにする』項目の「既定に設定する」ボタンをクリックします。



手順⑤

⑦「Microsoft Edgeは既定のブラウザです」に変更されていることを確認します。

⑧ 右上「×」ボタンをクリックして、Windowsの設定画面を閉じます。

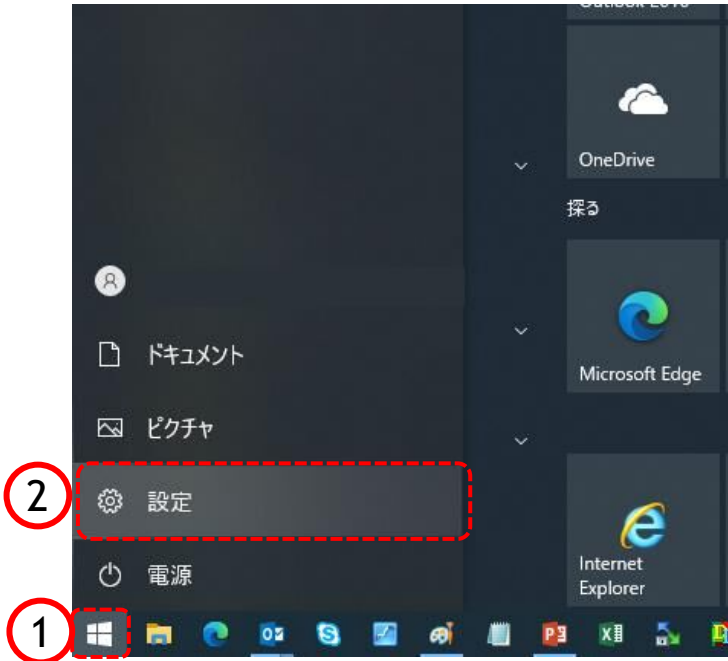
以上で既定ブラウザをEdgeに変更する手順は終了です。

(2) Windowsの設定から既定のブラウザを変更する場合

手順①

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

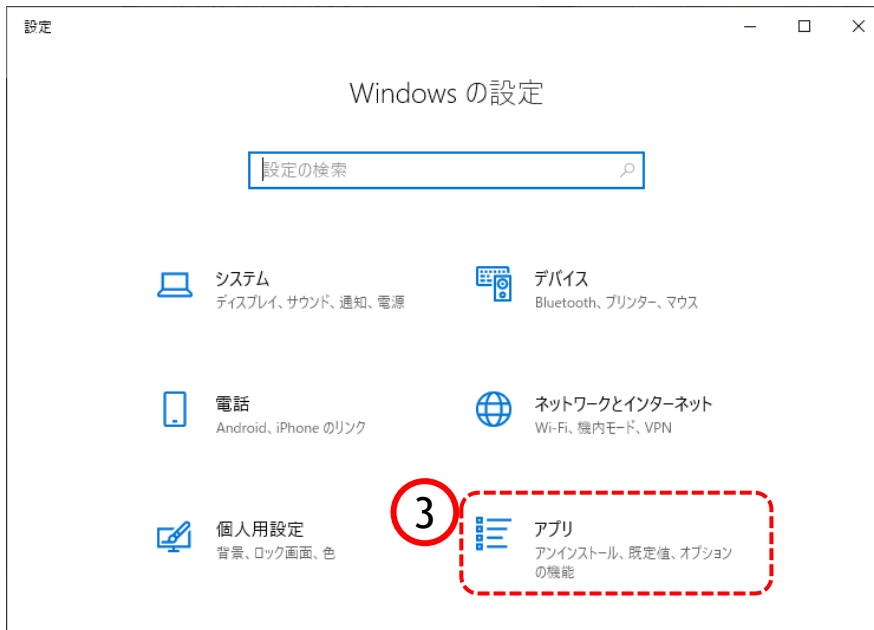
- ①「スタート」ボタンをクリックします。
- ②「設定」をクリックします。



手順②

Windowsの設定画面が開きます。

- ③「アプリ」をクリックします。





アプリと機能画面が表示されます。

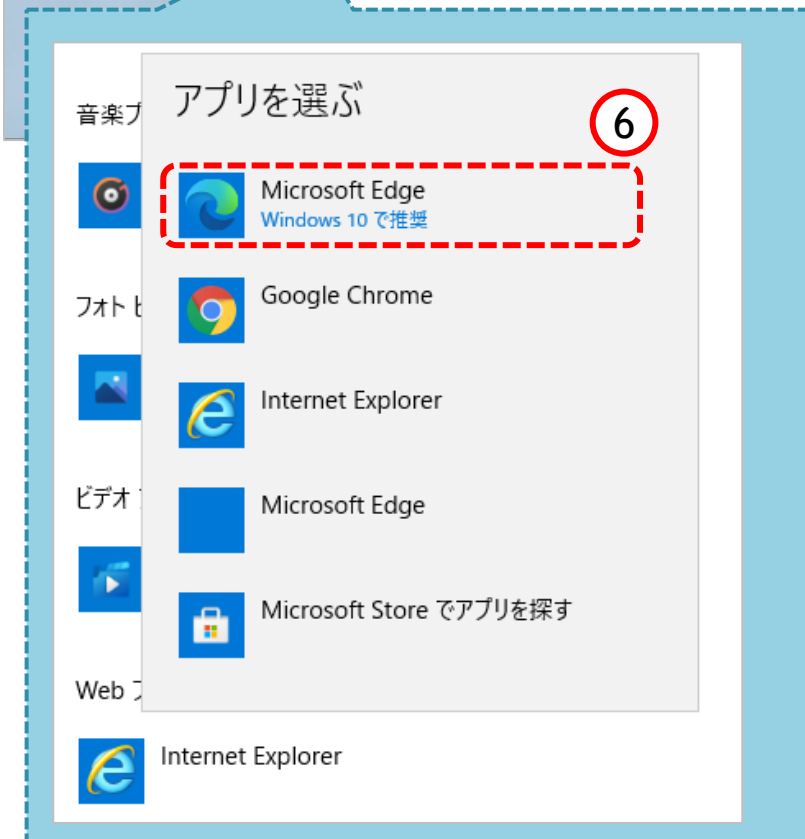
④「既定のアプリ」をクリックします。



既定のアプリ画面が表示されます。

⑤ Webブラウザの現在設定しているアプリを選択します。

上記画面のように「Internet Explorer」をクリックします。



アプリを選ぶ画面が表示されます。

⑥「Microsoft Edge」をクリックします。



既定のアプリ画面に戻ります。

⑦ Webブラウザが、「Microsoft Edge」に変更されていることを確認します。

⑧ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上で既定ブラウザをEdgeに変更する手順は終了です。

Microsoft Edgeの起動方法

「Microsoft Edge」を起動します。



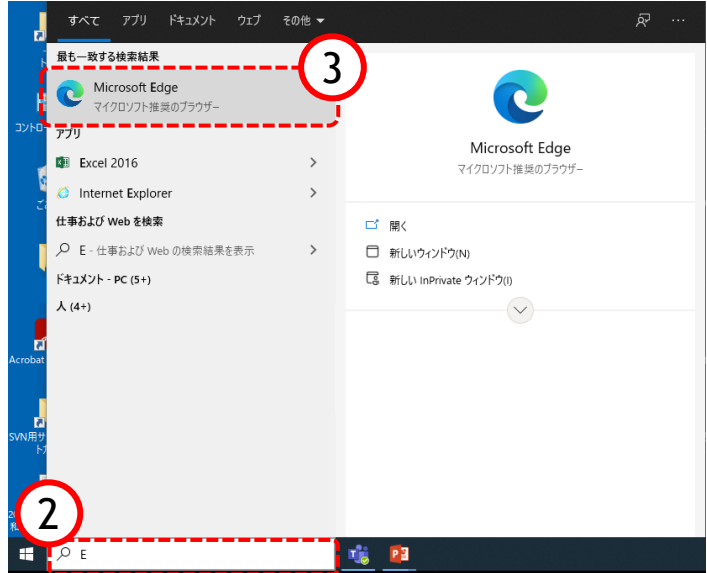
タスクバーの「Microsoft Edge」を選択します。

タスクバーにMicrosoft Edgeが無い場合



手順①

①「検索」欄を選択します。



手順②

②「検索」欄に「E」と入力します。

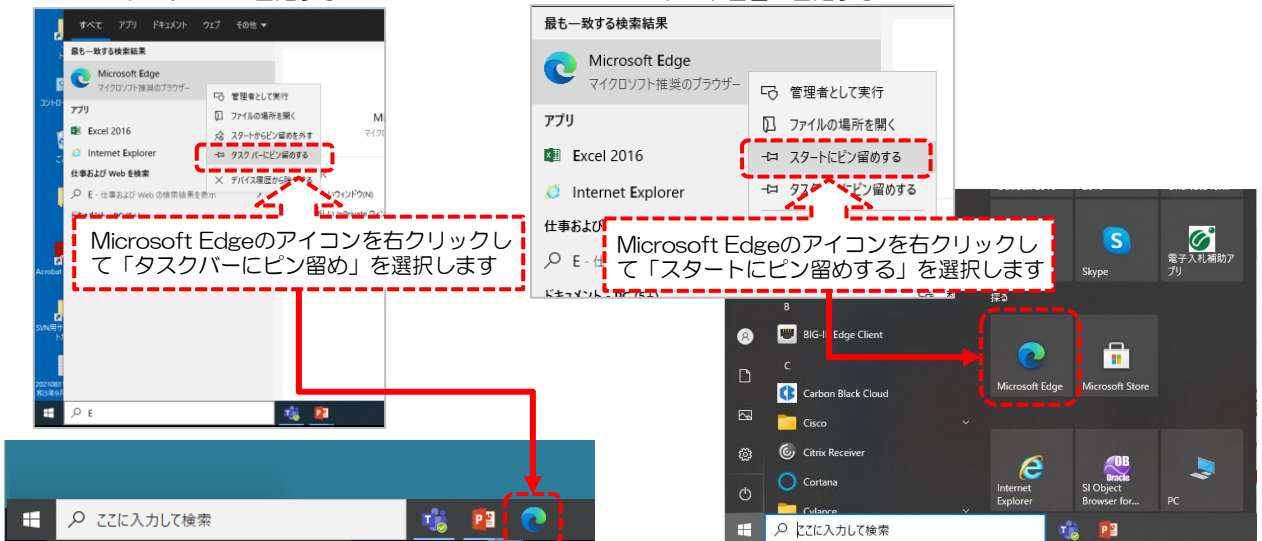
③検索結果にMicrosoft Edgeが表示されます。
「Microsoft Edge」をクリックします。

Microsoft Edgeを表示したい度に検索しないといけませんか？

タスクバーまたはスタート画面に固定することができます。

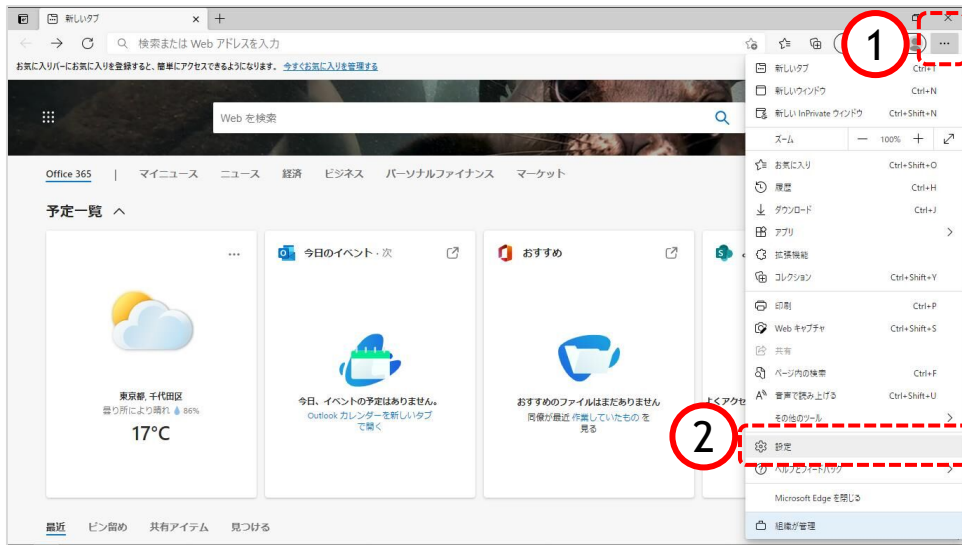
<タスクバーに固定する>

<スタート画面に固定する>



2. Edgeでのキャッシュクリア方法

ブラウザを「Microsoft Edge」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。
設定の手順は以下の通りです。



以下の手順で、Microsoft Edge画面から設定画面開きます。

- ① 「…」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。



設定のプロファイル画面が表示されます。

- ③ 「プライバシー、検索、サービス」 をクリックします。



プライバシー、検索、サービス画面が表示されます。

④『閲覧データのクリア』欄の「クリアするデータの選択」ボタンをクリックします。



閲覧データをクリア画面が表示されます。

⑤『時間の範囲』項目の「すべての期間」を選択します。

⑥「Cookieおよびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスにチェックをします。

⑦「今すぐクリア」ボタンをクリックします。

データクリアが完了すると、プライバシー、検索、サービス画面に戻るため、右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアは終了です。

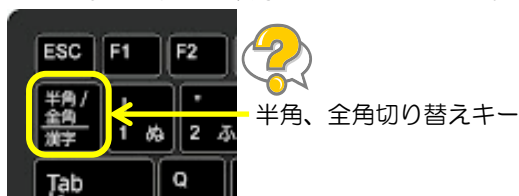
3. ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

[*.]fukuoka.lg.jp

- 「[」は左角カッコ
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「*」はアスタリスク
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「]」は右角カッコ
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。



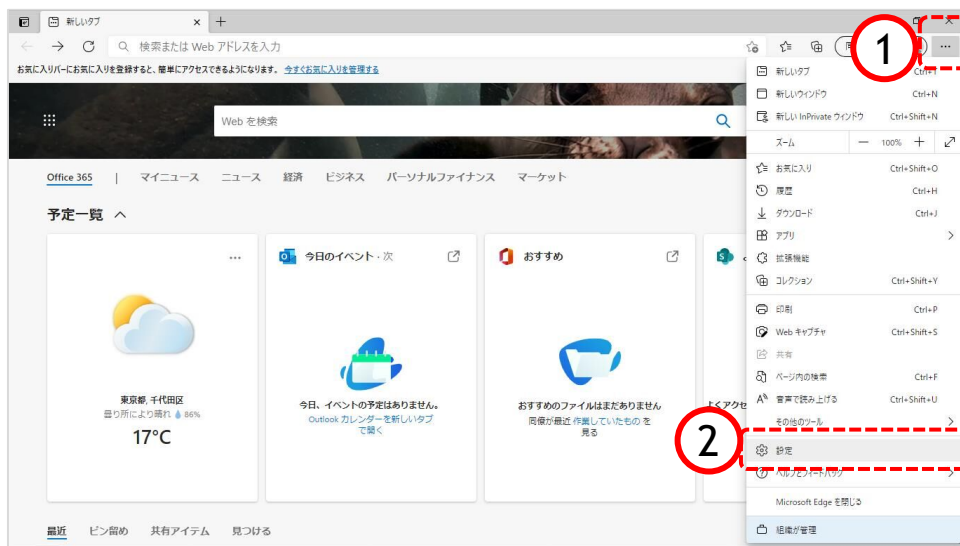
キーボードのキー配列図 (一部抜粋)



[: 左角カッコ

* : アスタリスク

] : 右角カッコ



手順①

以下の手順で、Microsoft Edge画面から設定画面開きます。

- ① 「…」ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



手順②

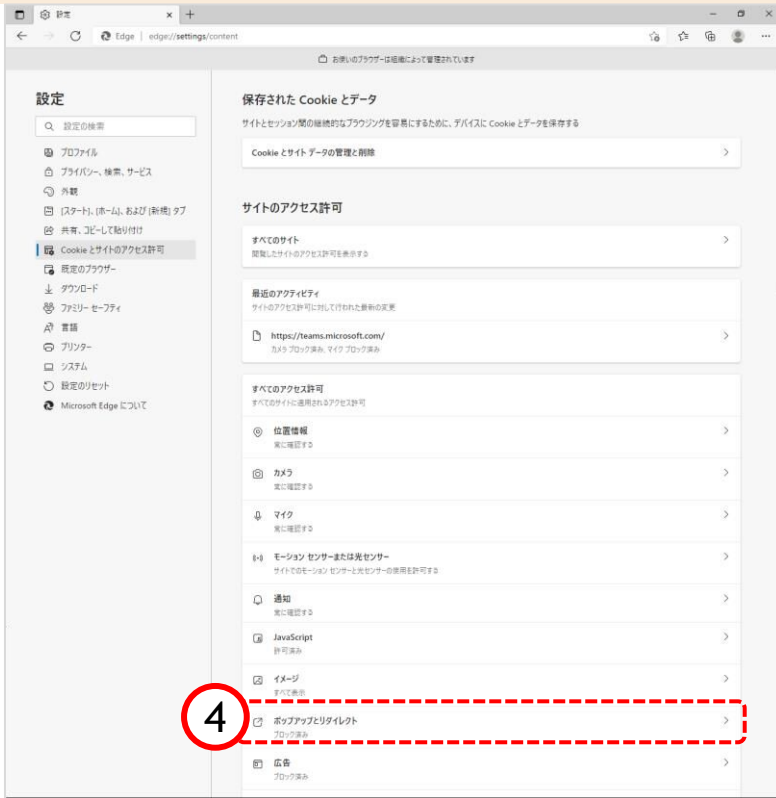
設定のプロファイル画面が表示されます。

- ③ 「Cookieとサイトのアクセス許可」をクリックします。

手順③

Cookieとサイトのアクセス許可画面が表示されます。

④「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



手順④

ポップアップとリダイレクト画面が表示されます。

⑤『許可』欄の「追加」ボタンをクリックします。



手順⑤

サイトの追加画面が表示されます。

⑥『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

入力するアドレスは、「[*.]fukuoka.lg.jp」です。



手順⑥

⑦ 「追加」 ボタンをクリックします。



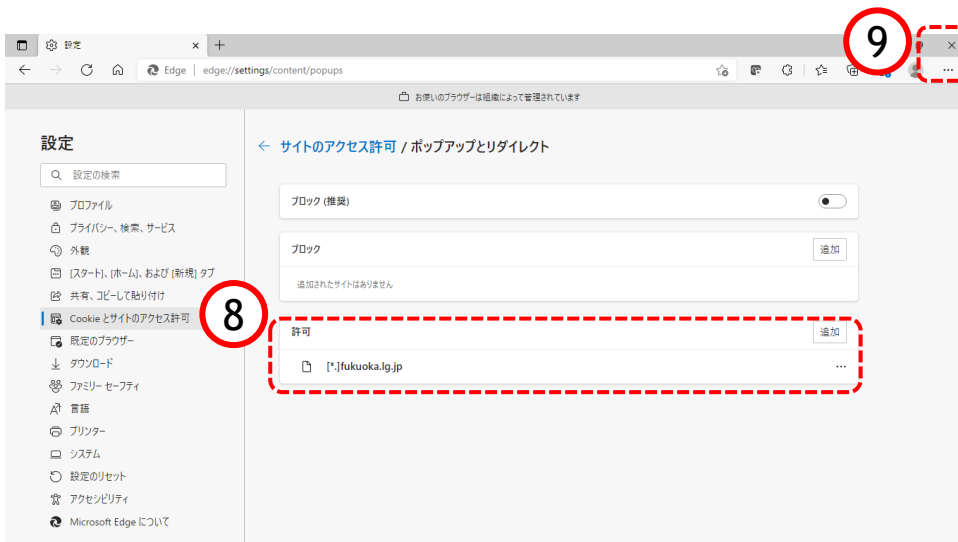
手順⑦

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

⑧ 『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

⑨ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

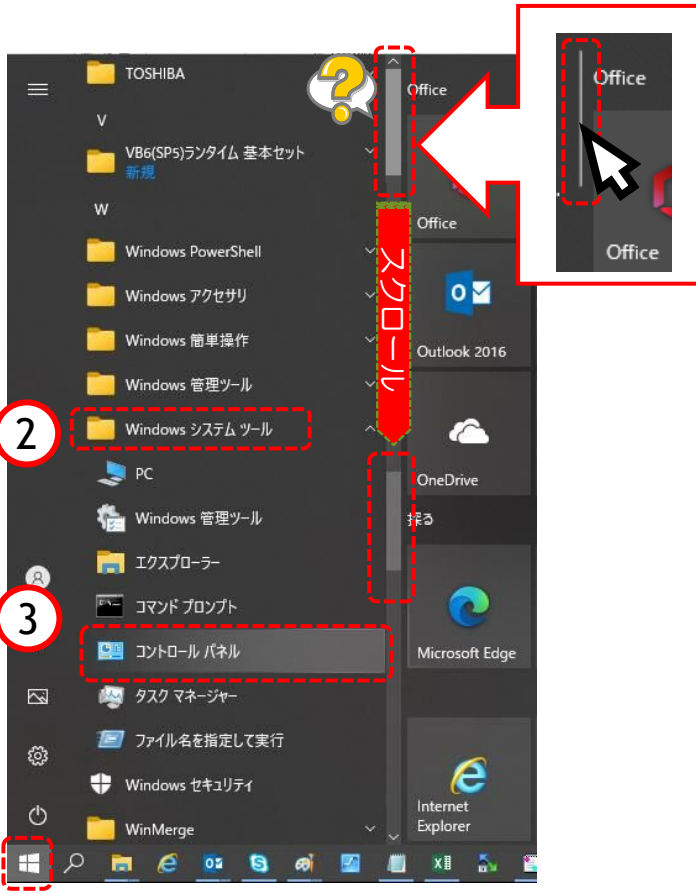
以上でポップアップの許可設定は終了です。



4. 信頼済みサイトの確認

電子調達システム使用時に、ポップアップブロック、ファイルのダウンロードがブロックされると、システムが正常に動作しないことがあります。
インターネットオプションより、「信頼済みサイト」に電子入札システム、入札情報サービスシステムのサーバアドレス情報が登録されていることを確認します。

電子調達システム用 https://*.fukuoka.lg.jp



手順①

以下の手順で、

- ① 「スタート」をクリックします。
- ② 「Windowsシステムツール」ボタンをクリックします。
- ③ 「コントロールパネル」をクリックします。



下に移動する場合は、細いスクロールバーに

マウスを当てることで、スクロールバーが太く表示されます。スクロールバーをクリックした状態で下に移動させてください。



手順②

すべてのコントロールパネル項目画面が表示されます。

- ④ 「インターネットオプション」をクリックします。



コントロールパネルの表示が左の画面と違う場合は、

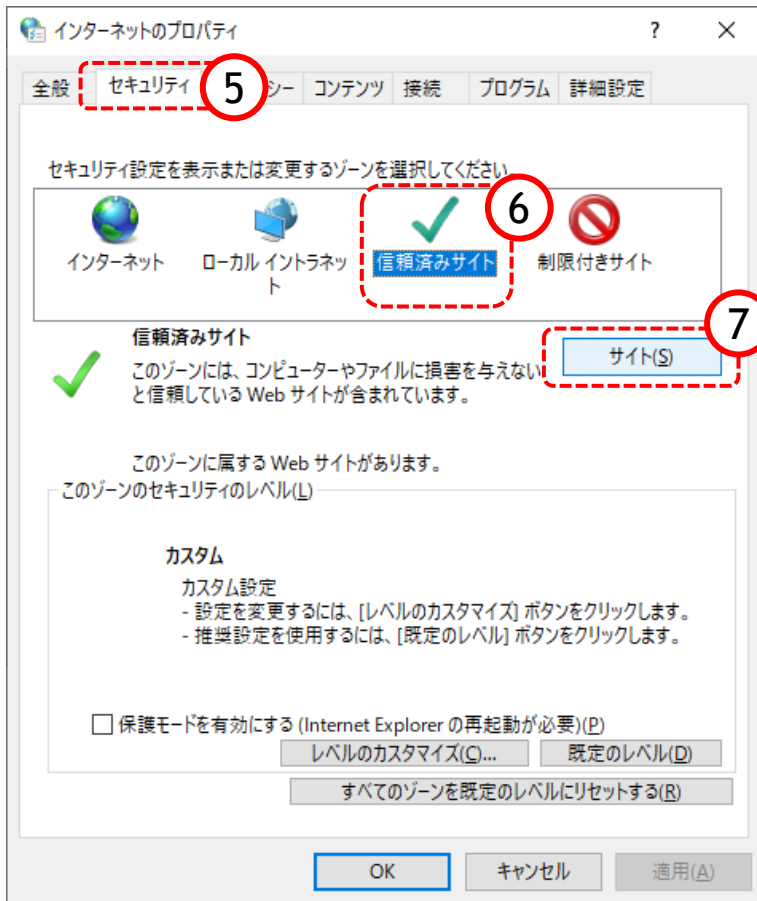
表示方法: カテゴリ▼

● カテゴリ(Q)

大きいアイコン(L)

小さいアイコン(S)

表示方法「カテゴリ▼」をクリックして、「大きいアイコン」を選択してください。



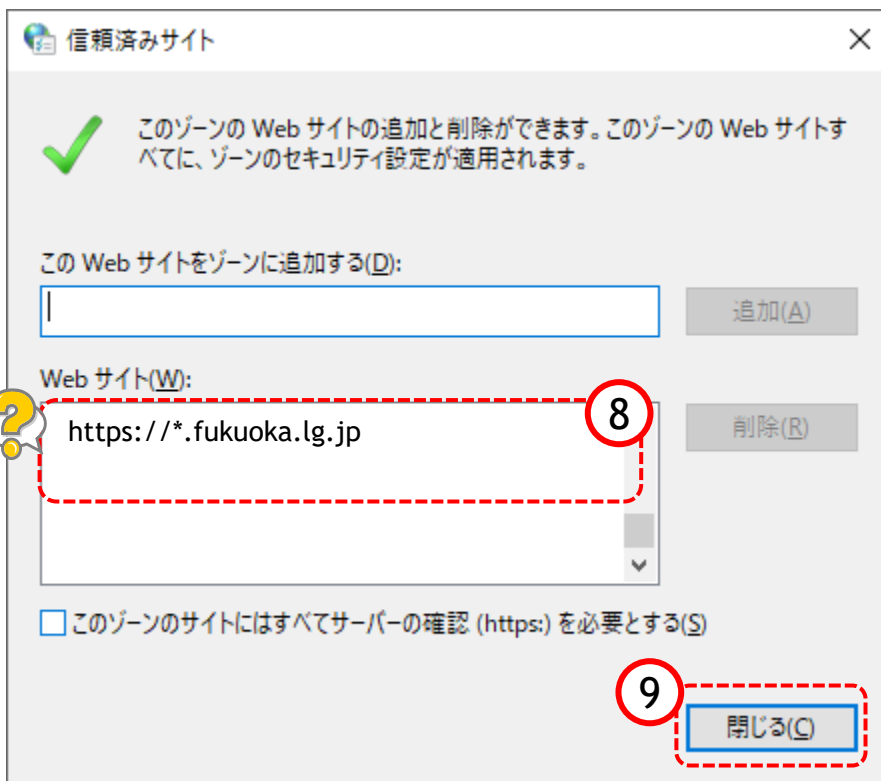
手順③

インターネットのプロパティ画面が表示されます。

⑤「セキュリティ」をクリックします。

⑥「信頼済みサイト」をクリックします。

⑦「サイト」をクリックします。



手順④

信頼済みサイト画面が表示されます。

⑧『Webサイト』欄にアドレスが登録されていることを確認します。

⑨「閉じる」ボタンをクリックします。



信頼済みサイトの登録がない場合は？

信頼済みサイトの登録方法（次ページ）より設定を行ってください。



信頼済みサイトの登録方法

信頼済みサイト

このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D): **1** **2**

Web サイト(W): **3**

このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする(S)

4

①『このWebサイトをゾーンに追加する』欄に登録が必要なアドレスを入力します。

入力前にテキスト箇所には何か文字が入っている場合はすべて削除してください。

②「追加」ボタンをクリックします。

③『Webサイト』に追加したアドレスが表示されます。

複数ある場合は、①から操作を繰り返します。

④「閉じる」ボタンをクリックします。

以上で信頼済みサイトの登録は終了です。

インターネットのプロパティ

全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定

セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。

インターネット ローカル イントラネット **信頼済みサイト** 制限付きサイト

信頼済みサイト

このゾーンには、コンピューターやファイルに損害を与えないと信頼している Web サイトが含まれています。

このゾーンに属する Web サイトがあります。

このゾーンのセキュリティのレベル(L)

カスタム
カスタム設定
- 設定を変更するには、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックします。
- 推奨設定を使用するには、[既定のレベル] ボタンをクリックします。

保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P)

10



インターネットのプロパティ画面に戻ります。

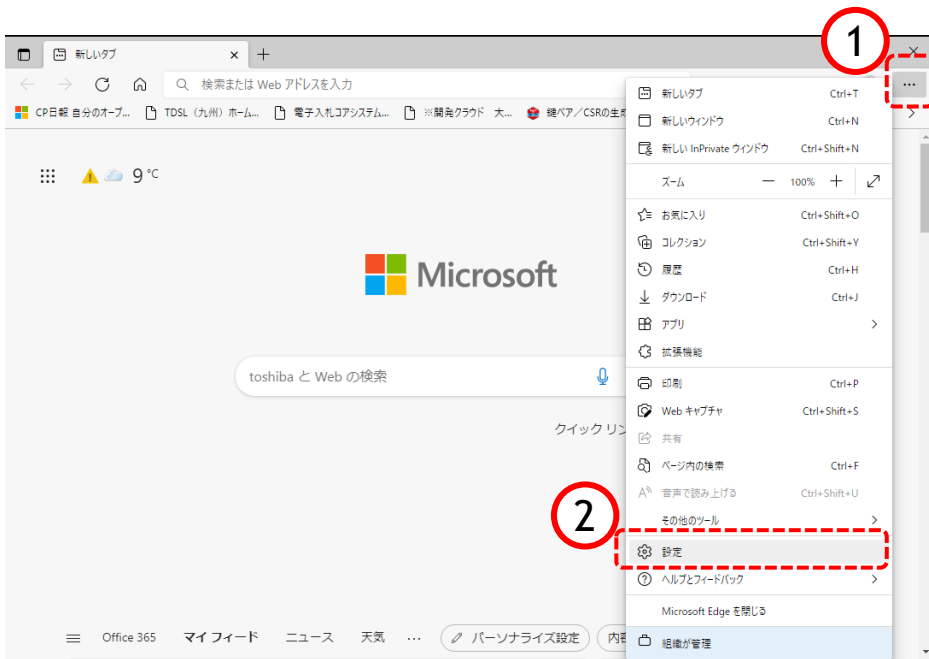
⑩「OK」ボタンをクリックします。

すべてのコントロールパネル項目画面に戻るので、右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上で信頼済みサイトの登録確認は終了です。

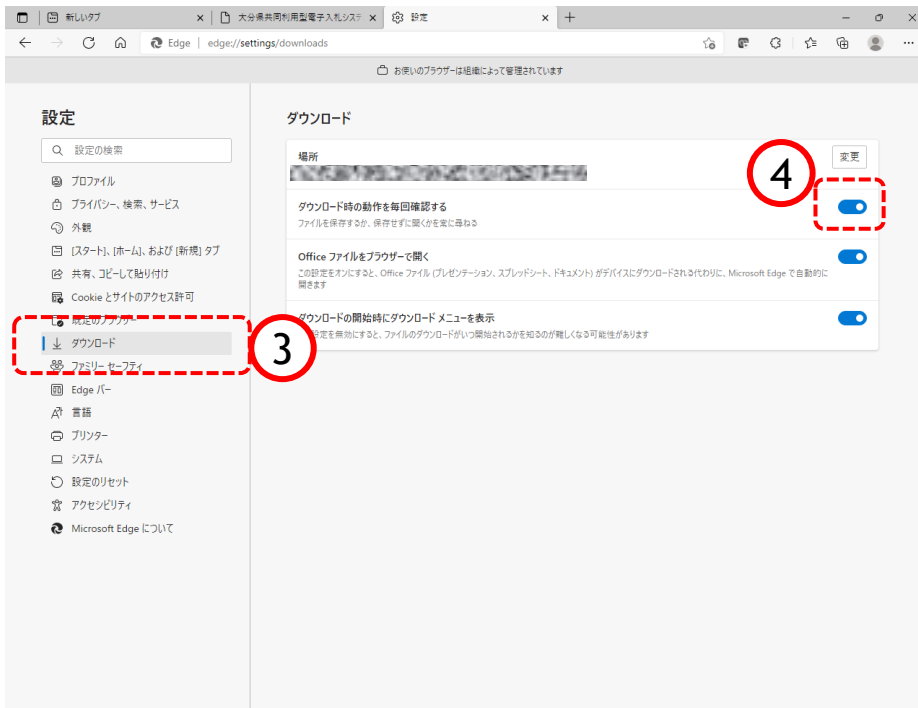
5. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法

以下の設定をすることによって、Edgeでファイルをダウンロードしようとした際に、ファイルを「開く」か「名前を付けて保存」するか選択できるようになります。



以下の手順で、

- ① 「・・・」をクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



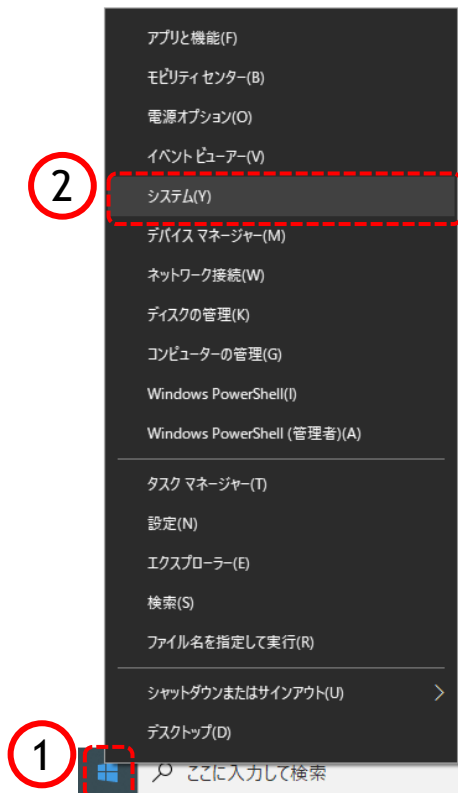
設定画面が表示されます。

③ 設定ページの左側に表示されているメニューから「↓ダウンロード」をクリックします。

④画面右側に表示されるダウンロード設定画面の中にある「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効 にします。

6. OSの確認方法

推奨動作環境は、Windows10 Pro/Home、またはWindows11 Pro/Homeです。
ご利用のパソコンOSが推奨動作環境となっているか確認してください。上記以外のバージョンでは、正常に動作しない恐れがあります。以下の手順に沿って、OSのバージョンを確認してください。



以下の手順で、

- ① 「スタート」を右クリックします。
- ② 「システム」をクリックします。



システム画面が表示されます。

- ③ 「Windowsの仕様」又は「Windowsのエディション」が、「Windows10 Pro」、「Windows10 Home」、「Windows11 Pro」、「Windows11 Home」のいずれかであることを確認します。